

2004年2月24日

## 川崎火力発電所4号機取替について

- 川崎火力発電所4号機を老朽設備取替にあわせ増強します。
- 発電設備は20万kW級の高効率な複合サイクル発電方式とします。
- 自営電力設備の供給能力はこの取替により、110.4万kWから約118万kWとなります。
- 運転開始は2010年を目指します。
- 環境対策を更に促進するため、燃料は天然ガスとします。

### 1. 現状

当社は自営電力設備として発電所110.4万kW（火力65.5万kW、水力44.9万kW）を所有し、主に東京地区に電力を供給しています。

このうち川崎火力発電所4号機（出力12.5万kW）は、1973年に運転開始した経年30年の重油を燃料とした発電設備で老朽化が進んでおります。

### 2. 出力

安定、低廉な電力を確保するとともに、今後の電力需要に対応するため、老朽設備取替にあわせ出力12.5万kWを20万kW級とします。

この完成により、自営電力は約118万kWとなります。

### 3. 発電設備

発電方式は、高効率な複合サイクル発電方式とします。

発電設備の冷却は海水を使用します。今回、既設冷却取水路のほか新たに冷却取水路を建設します。

#### 4. 燃料

燃料は環境性、供給安定性に優れた天然ガスを使用します。

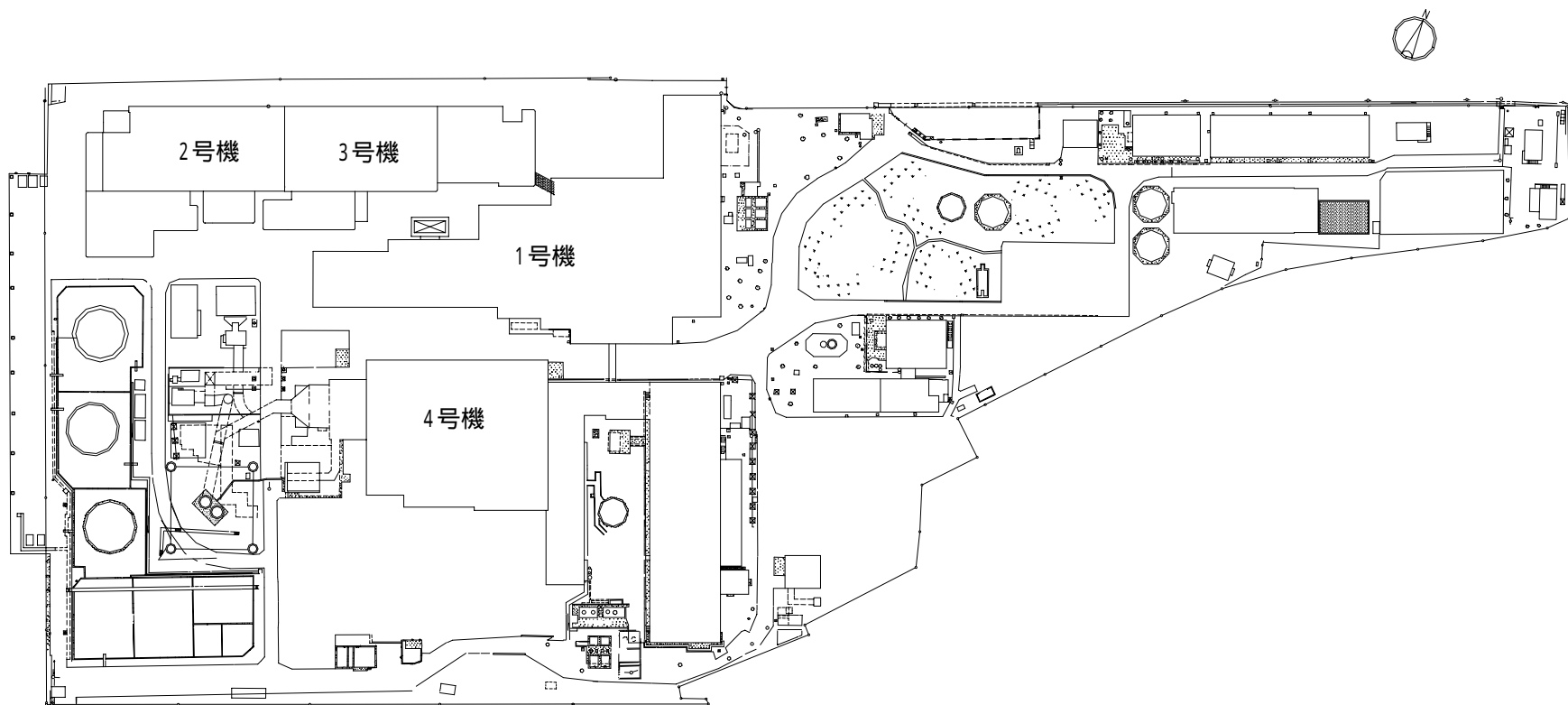
#### 5. 環境アセスメント

今回の取替においては、将来計画を踏まえ環境アセスメントを行います。

#### 6. 運転開始

2010年の運転開始を目指します。

# 川崎火力発電所構内平面図



田辺運河

	1号機	2号機	3号機	4号機	合計
認可出力 万kW	14.42	18.74	19.84	12.50	<b>65.5</b>
発電方式	複合サイクル			汽力	
使用燃料	灯油	都市ガス	灯油	C重油	
熱効率 %	39.0	44.4	46.4	36.3	
運転開始年	1981	1993	1999	1973	